

平成30年度国際消防救助隊の連携訓練の実施

参事官付

国際消防救助隊は、海外における大規模災害時に被災国政府又は国際機関からの要請に応じて、「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」に基づき派遣され、国際緊急援助隊の一員として、主に捜索救助活動を実施しています。これまで21回の派遣実績があり、平成29年9月に発生したメキシコ地震災害や昨年2月に台湾東部で発生した地震災害への派遣は記憶に新しいところです。

国際消防救助隊員が海外被災地で安全かつ迅速な捜索救助活動を実施するためには、国際的なガイドラインに関する知識やこれに準拠した技術を修得する必要があります。加えて、国際緊急援助隊救助チームは警察、海上保安庁といった複数の組織で構成されていることから、登録消防本部間だけでなく関係機関との連携強化も図る必要があります。

消防庁では、平成24年度から複数の消防本部が合同で実施する国際消防救助隊の連携訓練を実施していますが、今年度は、静岡市消防局及び北九州市消防局において、それぞれ東日本及び西日本を中心とした登録消防本部の参画を得て連携訓練を行いました。

静岡市消防局牧之原消防署で実施した連携訓練では、各登録消防本部及び第三管区海上保安本部の合計44名の隊員が活動現場を特定するプロセス（ASR2）や高度救助資機材を使用した捜索要領、狭隘空間での救助・医療（CSR/M）、都市型捜索救助技術であるブリーチングとショアリングの訓練を実施しました。

訓練参加隊員は各ブースに分かれ、医療班や構造評価専門家とも積極的に連携し、実践さながらの訓練に取り組みました。



CSR/M



ASR2



医療班との連携



高度救助資機材を活用した捜索

静岡市消防局

実施日	平成30年10月11日（木）、12日（金）
実施場所	静岡市消防局牧之原消防署
参加隊員	国際消防救助隊員40名（34消防本部） 第三管区海上保安本部4名
指導者	国際緊急援助隊救助チーム技術検討員2名 国際消防救助隊指導員8名 国際緊急援助隊事務局1名 医療班8名 構造評価専門家1名



ショアリング



ブリーチング (梁破壊)

北九州市消防局消防訓練研修センターで実施した訓練では、登録隊員52名が救助と医療班の連携、派遣事例、ASR2の講習を受講した後、実技訓練としてASR2、ブリーチング、ショアリング、CSR/Mの訓練を実施しました。

各小隊は安全管理の徹底と迅速な活動を主眼とし、訓練開始前から入念なプランニングと意見交換を行い、活動中も積極的にコミュニケーションを取りながら訓練に臨んでいました。また、疑問があった手技については、訓練終了後に指導員に確認し、空いている時間に再度実施するなど積極的に取り組みました。



ショアリング

北九州市消防局	
実施日	平成30年11月20日(火)～22日(木)
実施場所	北九州市消防局消防訓練研修センター
参加隊員	国際消防救助隊員52名(24消防本部)
指導者	国際緊急援助隊救助チーム技術検討員1名 国際消防救助隊指導員9名 国際緊急援助隊救助チーム技術アドバイザー1名 国際緊急援助隊事務局1名 医療班9名



CSR/M



講習



ASR2

国際消防救助隊の活動は、治安、言語、気象、文化等国内とは異なる環境下での捜索救助活動という過酷な任務であり、他国の救助チームと連携し活動することも想定されます。救助技術と知識の向上はもとより、日頃から外国語をはじめとする海外被災地で活動するための準備は必要不可欠です。

今年度、消防庁では、上記2か所で開催した国際消防救助隊の連携訓練を通じて国際消防救助隊員の知識・技術の向上を図りましたが、各登録消防本部においても、平素から近隣の登録消防本部や関係機関との更なる連携訓練を積極的に実施されますようお願いいたします。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付 手島、長戸
TEL: 03-5253-7507